

自治体SDGsモデル事業

# 国際化時代の地方都市モデル 「こまつ創生」実践事業



2030年のこまつのイメージ (2010年作成)

令和元年5月9日

石川県小松市

KOMATSU CITY  
JAPAN



# ビジョンによるまちづくりと地方創生を体現

かねてより、時代変化を見通し、変化を先取りした**まちの将来イメージ「10年ビジョン」**を作成し 市民と共有  
10年ビジョンの未来像からの**逆算方式(バックキャストिंग)**、**行動計画**を策定し、ビジョン実現へ多様な取組を展開

ふるさとこまつを未来へつなぐ条例  
～ PASS THE BATON ～

- … 最上位のまちづくりの理念、2016年3月議決制定  
将来ビジョンを掲げ、ひとづくりや多様な人々との共創によりまちづくりを進めることを決議
- … 2025年度を目標年次とした長期構想、2015年策定  
基本構想：北陸の際立ったまち「国際都市こまつ」

小松市都市デザイン

10年ビジョン  
(2011年～)



NEXT10年ビジョン  
(2015年～)

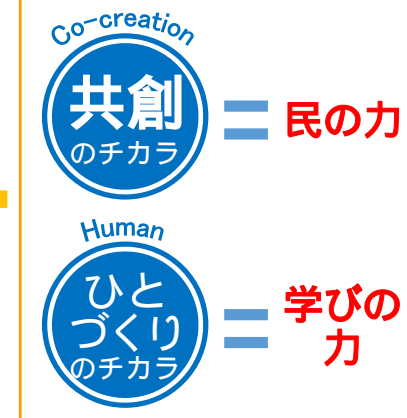


都市デザインの将来イメージと  
代用特性(数値目標)を表現

4つのまちづくりテーマ



2つのまちづくりのエンジン



〔 現10年ビジョンは、2040年を  
目途としたビジョンに改訂予定 〕



1stステージアクションプラン



2ndステージアクションプラン



こまつ創生総合戦略

旗管理方式(Flag management)により**目標値(KPI)**を  
掲げ、**PDCA**で政策展開

各種**アクションプラン**へ展開



SDGsの理念・ゴールと**予算をリンク**

**課題** 国際化・人口減少・技術革新のもと 地域産業の成長と多様な就労の実現

**政策**

アクセス強化や基盤整備とともに、コマツなど世界で活躍する企業の技術・ノウハウを展開。AI・IoTなどの積極導入で、**あらゆる産業を未来型に革新**

- ・空路・鉄路・道路のアクセス機能強化と新たな産業立地の環境づくり
- ・地域産業モデルチェンジ事業 **モデル事業** (2013年~)

〔 産業革新にチャレンジする中小企業等への多様な支援メニュー展開  
シニア・女性・障がい者等が働きやすい仕事の仕組みづくり 〕

環境対応や国際展開を見据えた**高度化や6次産業化**で、農林業や里山地域を発展

- ・木質バイオマスなど再生可能エネルギーの導入支援 (2013年~)
- ・農業(大麦、トマト、ニンジンなど)の6次産業化・ブランド化・販路拡大 (2009年~)
- ・里山地域での酒造プロジェクト、ジビエ産業化プロジェクト **モデル事業** (2015年~)

〔 農工連携による里山ビジネスの創出支援、**広域連携**で整備する施設でジビエ加工・販路開拓 〕

**外国人住民も含め 多様な就労環境づくり**

- ・女性の創業塾・経営者セミナー、やさしい職場づくりを促進 (2010年~)
- ・外国人就労支援ネットワークの構築 **モデル事業**

〔 産官民の横断的取り組みで、外国人住民の「働く・学ぶ・暮らす」を総合サポート 〕



ICTコンストラクションを始め  
産業の省力化・環境技術を推進  
(コマツ)



大企業の技術革新を農林業にも展開



女性の活躍を応援する創業塾や経営スクール



**ゴール**

**産業界全体を改革・多様な就労機会を創出・  
地域の持続的成長へ**



**課題** 超高齢化への対応と持続性・多様性ある地域社会の形成

**政策**

**予防**を重視し、**地域ぐるみ**の健康活動の充実と、**データヘルス**に基づく効果的な健康政策の展開で、健康長寿を推進

- ・きめ細やかな相談体制の整備やフレイル予防など、**地域包括ケアの充実**（2010年～）
- ・データヘルスを活用した予防政策の推進 **モデル事業**

〔 国保データベースを金沢大学と共同分析し地域の状況**見える化**  
食生活改善や老人クラブなどの健康活動や認知症予防の取組みを充実 〕



200以上の町内で健康サロン活動が展開

幸せを追求した質の高い地域へ。地域運営組織の**役割・機能向上**

- ・地域の学びや活動拠点に、地区コミュニティセンターの機能拡充（2010年～）
- ・地域協議会の活動形成・推進 **モデル事業**（2018年～）

〔 地域運営組織の設立、地域ビジョンの策定推進など、自主的取り組みを支援  
金沢大学と連携した**幸せ度調査**を地域運営に活用 〕



**外国人とその家族**をはじめ、きめ細やかな暮らしのサポートで共生の社会づくり

- ・多様なコミュニケーション、バリアフリー、多言語対応などのやさしいまちづくり（2009年～）
- ・外国人住民の暮らし総合サポート **モデル事業**（2018年～）

〔 多言語総合相談機能の整備、日本語初期指導や進学などの教育支援の強化と地域参加促進 〕



**健康長寿の増進と活躍・地域コミュニティの持続性向上と多文化共生モデルの構築**



**課題** 水質や廃棄物など環境負荷軽減と 市民の高い環境意識の醸成と活動展開

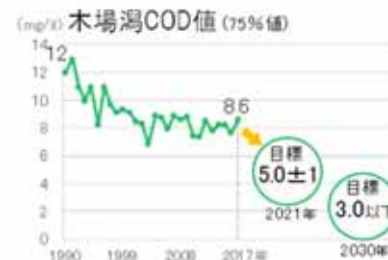
**政策**



環境再生が進む**木場潟**を**多様な魅力を持つシンボル**へ。  
産学官民一丸で環境美化や調査を推進

・木場潟環境共生プロジェクト **モデル事業** (2012年～)

〔 市民の地道な水質改善活動から、水質や生態系の調査を国・県・金沢大学と連携して展開。活動と成果を世界に発信 〕



東京オリパラや北陸新幹線開業を見据えた、**小松の豊かな環境**に親しめる**空間・体制づくり**

・水辺をテーマとした環境活動、健康・スポーツ大会の充実

・**フローラルこまつ** 花・水・樹による快適な空間づくり **モデル事業** (2013年～)

〔 緑の少年団等による緑化活動や市民の花育活動、白砂青松再生 東京オリパラ・カヌー競技の**ホストタウン**として来訪者をサポート 〕



美しい水辺を再生させ、市民が世界に誇れるスポーツや交流、健康、環境教育の舞台に



フローラルこまつ 年8,000人以上が参加

**ごみ減量化**への多様な取り組みを、国籍を越え**地域総ぐるみ**で展開

・余熱による発電機能を備えたエコロジーパークこまつ整備

・ごみダイエット半減プロジェクト **モデル事業**

〔 市民による環境美化活動をサポート (3R、3バック、3キリの合言葉)、**リサイクル**推進 フードドライブや食べきり運動で食品ロスを削減、外国人住民への環境美化教育 〕



1,000を超える市民団体や企業が環境美化・緑化活動を推進



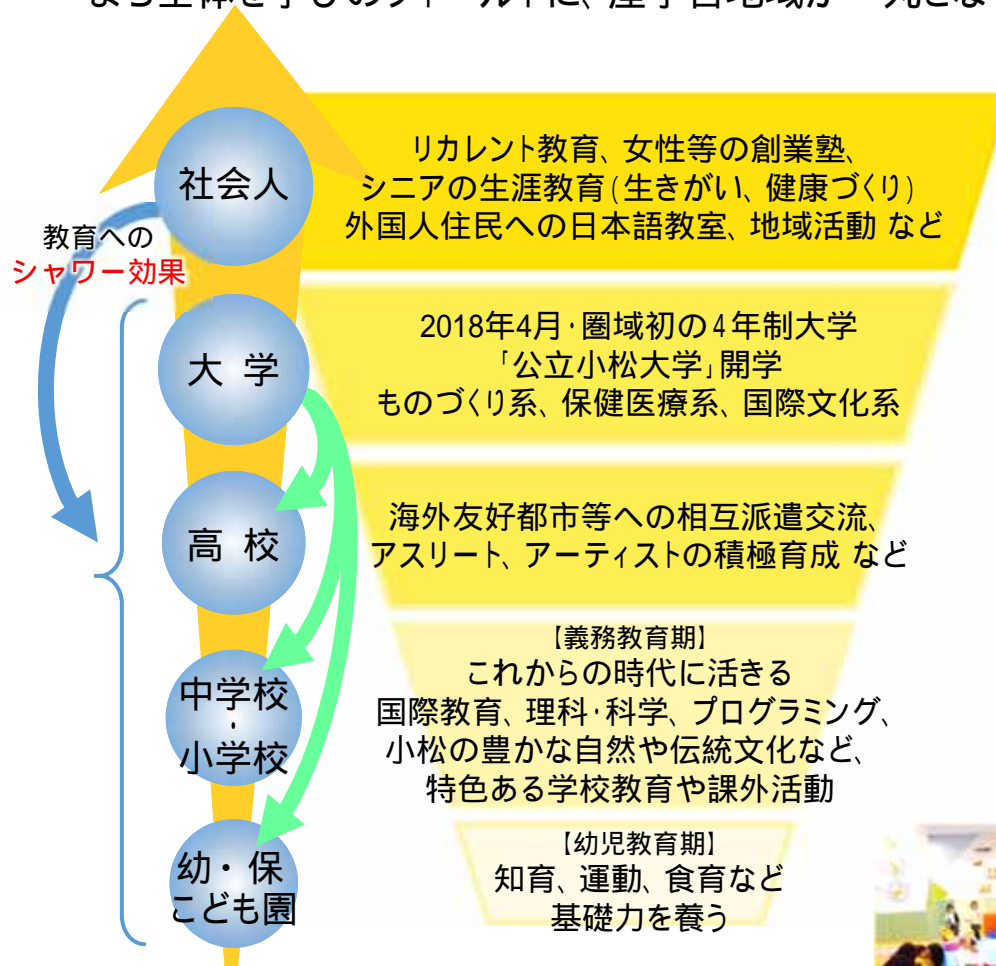
ゴール

**高い意識と行動力で環境と共生、豊かさ美しさが世界との交流や市民の誇りに**



「民の力」を高める最善の手段は「学びの力」を育むこと

まち全体を学びのフィールドに、産学官地域が一丸となりライフステージに応じた**特色ある学び**を提供



幼少期からの  
**一貫したSDGs人材育成システム**

## 多様な学びを展開

自治体SDGs補助金

大学監修によるカリキュラムの  
拡充・レベルアップ

受講生が地域で活躍しやすい  
仕組みづくり



あらゆる世代の知的好奇心を養う



外国人住民は地域防災や救急で活躍



サイエンスヒルズで最先端の理科・科学を探索



知育・食育・子育て拠点カブッキーランド



歌舞伎「勤進帳」を小中学生が毎年演じる

# 統合的取組によって生じる相乗効果

## 経済 環境

地域産業全体で環境経営など経営革新が図られ  
環境負荷軽減へ**再生可能エネルギーへの転換**等が促進  
農林業振興による山林・田畑の荒廃防止と**治山治水**  
自然・農・食の価値向上で里山交流人口や消費が拡大



## 経済 社会

地域産業全体で多様な人々の就労・働き方改革が進み  
**仕事を通じて幸せを実感**できる社会環境が構築  
地域全体の健康増進により、元気シニアが現役人生を永く  
地域や産業で活躍、新ビジネスを創出

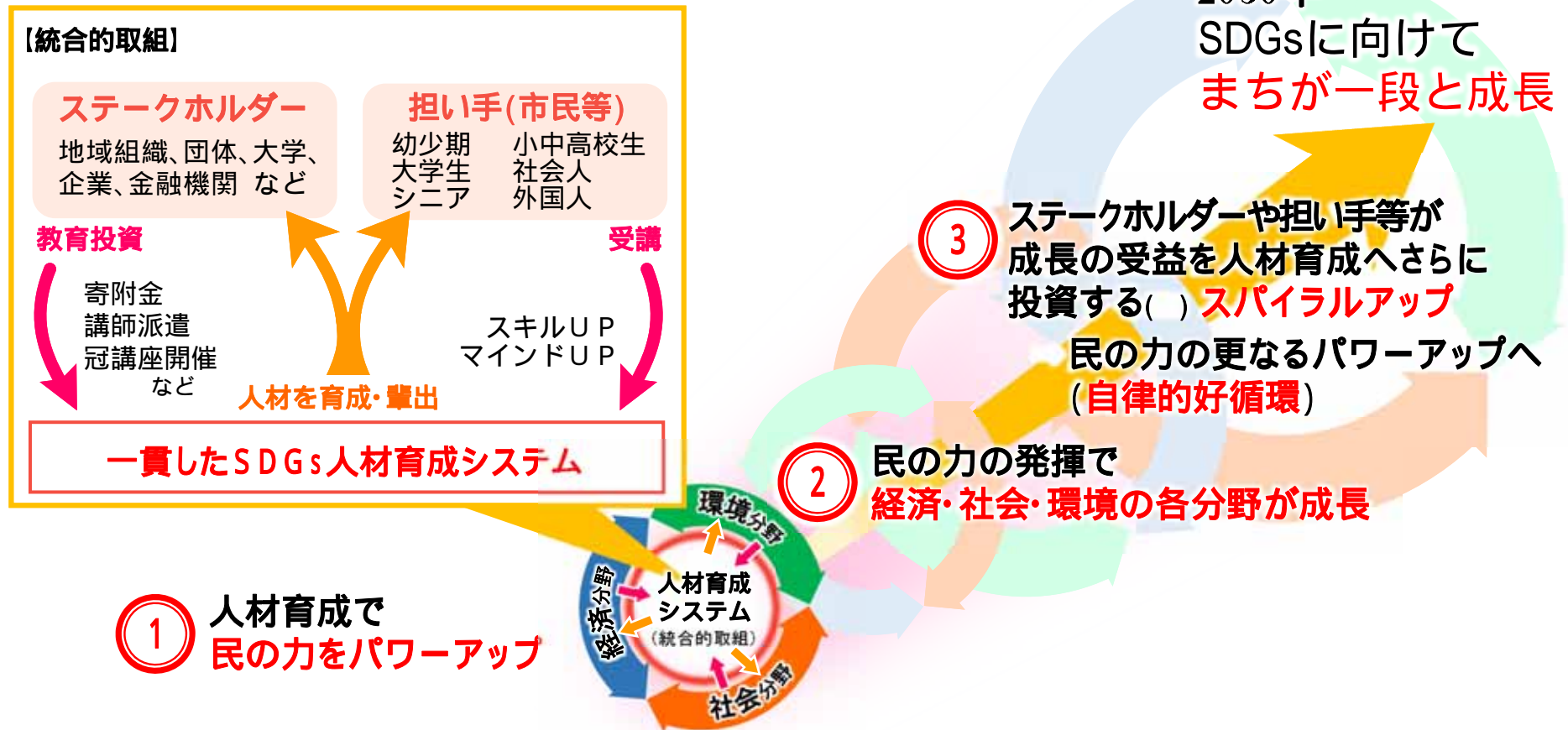


## 社会 環境

多文化共生の地域社会の形成が進み、国籍を越え地域  
総ぐるみのリサイクルや環境活動の輪が拡大  
美しい自然環境でのスポーツ・レクリエーションに親しみ  
健康増進や仲間づくりなど豊かさを創出  
**木場潟を舞台とした国際交流拡大**で、多文化共生や小松  
のイメージ、市民の愛着、来訪者のホスピタリティ向上



グローバル化、超高齢化、技術革命など日本と地方都市が直面する課題に対し、本市の強みである産業力・市民力・地域力といった「民の力」を、「学びの力」で一段と高めて困難を克服



( ) 税込増、社会保障・環境コストの低減、生産性拡大、コミュニティの自立性向上等の受益を、公共投資や寄附金、講師派遣等で投資

外国人を含むあらゆる民の力を結集した国際都市ならではの手法で、**地方の持続可能な成長モデル**へ



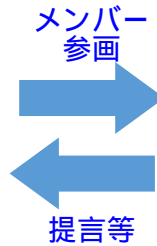
2012年より包括連携協定で提携している**金沢大学**を重要なステークホルダーとして、小松市との共同で**SDGsプラットフォーム**を新たに設置し、共同活動等を展開、SDGsを強力に推進



**パートナーシップを活かして  
強力なSDGs推進体制を構築**

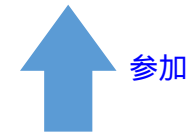
【行政体内部の執行体制】

(仮称)こまつ創生SDGs実行本部  
全部局にて構成する経営会議を活用  
(毎月1回以上開催)  
SDGs推進に係る意思決定、部局横断の  
強化、政策評価 等



**(仮称)小松市・金沢大学SDGsプラットフォーム**  
金沢大学教員と市関係部署のメンバーによって運営  
取り組み内容に関する助言・提案協議、パートナーシップの裾野拡大  
や分野を超えた関係構築の推進  
統合的取組である、多様な学びに係るカリキュラムの計画・監修 等

市議会 + 関連組織(まちづくり市民財団、  
社会福祉協議会、シルバー人材センター 等)



**国内外の多様なステークホルダー**  
国、県、近隣自治体、国内外の交流都市  
(姉妹都市、ホストタウン等)  
地方創生SDGs官民連携プラットフォーム  
など加盟ネットワーク  
企業等と連携した国際学会・国際会議の  
招致や共同活動の展開 等

小松市の取り組みへの賛助や情報発信等で連携

**地域で活躍する各分野のステークホルダー**  
(株)小松製作所(コマツ) 栗津工場、小松マテリア(株)など 経済界  
こまつ環境パートナーシップやフローラルこまつ、国際交流協会などの民間団体  
教育機関(幼保/小/中/高)  
公立小松大学など 大学機関  
住民自治組織(町内会(246)  
自主防災組織(246) 公民館(262)  
老人会(220) いきいきサロン(189))  
その他専門機関・各種団体 等

